

経営学専攻 Business Administration

>>> 博士課程 前期課程

教育研究上の目的

経営学研究科経営学専攻博士課程前期課程は、実践能力を発揮できる高度な専門的職業人を養成すること、及び社会で活躍している職業人に対してビジネスの現場において活用可能な経営・会計・情報・商学の分野における実践的かつ理論的に体系化が可能な知識ならびに教育・研究の機会を提供することを目的とする。

▶ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経営学研究科経営学専攻博士課程前期課程は、建学の精神に基づく教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、専門分野に関する次のような高度な能力を身につけ、修士論文が審査のうえ合格と認められた学生に修士（経営学）の学位を授与する。

- ①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、高度な専門的業務に従事するために必要な専門知識や能力を身につけている。
- ②経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野にまたがる幅広く深い知識を身につけ、マネジメントに関わる諸問題に対処することができる。
- ③①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、身につけた専門知識を用いて実社会の状況を的確に分析できる。
- ②経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、自らが設定したテーマに関し、幅広い専門知識に基づいて論文にまとめ、それを発表できる能力を身につけている。
- ③①建学の精神を踏まえ、多様性の考え方を尊重しつつ、専門的職業人として実践能力を発揮し、多角的な視点からビジネス上の様々な課題を発見し解決することができる。

▶ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営学研究科経営学専攻博士課程前期課程は、修了認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

- ①教育内容
 - ①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野から専門分野を選択し、専門性が求められる職業を遂行するための能力を育成する。
 - ②初年度に、経営学研究のための文献・資料収集の方法、プレゼンテーションの技術、論文の書き方などを指導する「経営学研究の基本技法」を基礎講義科目として配置している。また、昼開講、夜間・土曜開講、いずれにも対応ができるような科目配置を行っている。
 - ③研究科全体が、各院生の論文の方向性や執筆状況についての情報を共有し、常に質の高い論文完成に向けた指導を行う。
- ②教育方法
 - ①研究指導科目等の少人数科目を活用し、活発な議論を展開する教育を実施する。
- ③評価方法
 - ①学位授与方針で掲げられた能力の評価は、単位取得状況、授業受講状況、学位論文等の結果によって行う。
 - ②2年間の総合的な学修成果として、複数教員による論文指導と共に研究科全体での論文評価を行う。

▶ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

経営学研究科経営学専攻博士課程前期課程は、教育研究上の目的とディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、下記の能力を備えた受験生を各種試験で受け入れる。

- ①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野での研究を進展させ、この分野での専門能力を高めるのに必要な基礎学力を身につけている。
- ②①すでに社会に出ている人で、経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野において高度な専門知識を身につけ、理論的な体系化を考えることができる。
- ③①出身大学や出身学部に関わらず、経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野に深い関心を持ち、専門能力を高めることができる。
- ②経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、高度な専門性と研究能力を身につけ、専門的職業人を目指すことができる。

Curriculum	2022年度 カリキュラム
<ul style="list-style-type: none"> ■研究指導科目 ・経営学研究指導 ・マーケティング研究指導 ・知識・情報マネジメント研究指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計学研究指導（税理士試験免除対象） ・税法研究指導（税理士試験免除対象）
<ul style="list-style-type: none"> ■専門講義科目 	
経営学系	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業論講義 ・経営史講義 ・経営管理論講義 ・人的資源管理論講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産管理論講義 ・経営財務論講義 ・国際経営論講義
商学・マーケティング系	
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング講義 ・国際マーケティング講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・流通論講義 ・経営診断論講義
知識・情報マネジメント系	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営情報論講義 ・情報ネットワーク論講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営システム科学講義 ・経営統計論講義
会計学系	
<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計論講義 ・会計監査論講義 ・管理会計論講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・原価管理論講義 ・経営分析論講義 ・税法・税務会計論講義
<ul style="list-style-type: none"> ■基礎講義科目 ・経営学研究の基本技法 	

経営学専攻 Business Administration

>>> 博士課程 後期課程

教育研究上の目的

経営学研究科経営学専攻博士課程後期課程は、経営・会計・情報・商学といった経営科学の分野において、変化して止まない現代社会に適應可能なより専門性の高く、創造的かつ自立した研究者を養成するとともに、各分野にまたがる幅広く深い専門的知識を身につけ、それを応用できる高度な専門業務従事者を養成することを目的とする。

▶ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経営学研究科経営学専攻博士課程後期課程は、建学の精神に基づく教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、専門分野に関する次のような高度な能力を身につけ、博士論文が審査のうえ合格と認められた学生に博士（経営学）の学位を授与する。

- ①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野にまたがる幅広く深い知識、また各分野での高度な専門知識を身につけ、それを応用して経営の諸問題を解決できる。
- ②経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、より高度な専門的業務に従事するために必要な専門知識や能力を身につけている。
- ③①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、研究成果を学術的な研究としてまとめ、それを発表できる能力を身につけ、研究者として自立して研究活動を行うことができる。
- ②経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野で、身につけた専門知識を用いて実社会の状況を的確に分析し、新たな視点で課題に取り組むことができる。
- ③①建学の精神を踏まえ、多様性の考え方を尊重しつつ、高度な専門知識を有する研究者として、多角的な視点からビジネス上の様々な課題を発見し解決することを通じて、積極的に社会に貢献することができる。

▶ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営学研究科経営学専攻博士課程後期課程は、修了認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

- ①教育内容
 - ①経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学の各分野から専門分野を選択し、より高度な専門的知識や能力を育成する。
 - ②伝統的な経営学の領域だけでなく、国際化やICT化の進展の中でその重要性が認識されてきた新しい経営学の領域にも踏み込んで、学際的な視点から教育する。
 - ③博士論文完成までの各段階で条件を設定すると共に、研究科全体が、逐次、研究内容及び進捗状況を確認することで、より質の高い論文完成に向けた指導を行う。
- ②教育方法
 - ①研究指導科目等の少人数科目を積極的に活用し、活発な議論を展開する教育を実施する。
 - ②同じ研究テーマに取り組む研究者及び実務家との共同研究を推奨する。
- ③評価方法
 - ①学位授与方針で掲げられた能力の評価は、単位取得状況、授業受講状況、学位論文等の結果によって行う。
 - ②複数教員による論文指導と共に研究科全体で、博士論文完成までの各段階に設けられた条件をクリアしていることを確認し、その都度、論文内容の評価を行う。

Student Voice

経営学専攻
博士課程前期課程修了

白井 綾さん

大東文化大学 経営学部卒

▶ 今の自分をより大きく成長させてくれる環境が大学院にはある

私は、大学生の時に、税法に関する卒業論文を執筆していたのですが、さらに深く税法に関する研究を行いたいと考えようになり大学院に進学しました。次に、私が大学院に進学してからは、指導教授の丁寧な指導により、修士論文の執筆も円滑に進めることができました。最後に、私が修士課程を終えて感じたことは、とても有意義な修士課程を過ごさせて頂いたと感じています。その理由と致しましては、私が進学の際に考えていた税法に関する研究を思う存分できたことに加えて、私の就職先につきましても希望していた税法に関する就職先に内定を頂けたからです。また、大学院に進学したいと考えている方は、大学院に進学できる環境があるのならば、大学院に進学したほうが良いと思います。その理由と致しましては、私は、修士課程の2年間でたくさんの方を学び成長できたことが、現在に繋がっていると感じています。そのため、今現在大学院進学に悩んでいる方は、大学院に進学し、修士課程をしっかりと終えることで今の自分より成長できると思いますので参考にして頂ければ幸いです。

経営学専攻 専任教員

樋渡 淳二 HIWATASHI Junji 博士(商学) 研究科委員長・教授

研究分野 リスクマネジメント、ファイナンス、経営財務

- 最終学歴: 早稲田大学大学院
●担当授業科目: 経営財務論講義、経営財務論研究
●研究テーマ: 金融危機、持続可能な金融システムの構築、リスクマネジメント
●主な著書・論文: 『金融機関のリスクマネジメント高度化に関する研究』(2014.大東文化大学経営研究所)、『金融機関の決済リスク管理高度化について』(2016.『経営論集』第30・31合併号、大東文化大学経営学会)、『環境変化に対応した企業の経営・リスクマネジメントのあり方』(2018.『経営論集』第35号、大東文化大学経営学会)等

青木 幹喜 AOKI Mikiyoshi 博士(商学) 教授

研究分野 経営管理論、経営組織論

- 最終学歴: 慶應義塾大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、経営管理論講義、経営組織論研究
●研究テーマ: エンパワメント経営、エンパワリング・リーダーシップ
●主な著書・論文: 『経営におけるエンパワメント』(2005.大東文化大学経営研究所)、『エンパワメント経営』(2006.中央経済社)、『人と組織を活かす経営管理論』(編著: 2009.八千代出版)、『エンパワリング・リーダーシップ』(2021.中央経済社)

國府 俊一郎 KOKUBU Shunichiro 博士(経済学) 教授

研究分野 人的資源管理論、労働経済学、台湾

- 最終学歴: 九州大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、人的資源管理論講義、人的資源管理論研究
●研究テーマ: 海外に進出する日系サービス企業の人事管理、日本の会社における人事労務管理
●主な著書・論文: 『限定正社員をどうモチベートするか』(『経営論集』NO.35 2018年)、『台湾に進出する日系外食産業における人材育成・確保のための施策の研究』(『アジア経営研究』NO.25 2019年)等

首藤 禎史 SHUTO Tadashi 博士(商学) 教授

研究分野 マーケティング、事業戦略論、商業経営論

- 最終学歴: 明治大学大学院
●担当授業科目: マーケティング研究指導(前期・後期課程)、マーケティング講義、経営診断講義、マーケティング研究
●研究テーマ: マーケティング理論とビジネス戦略の新視角の探究
●主な著書・論文: 『商品戦略と診断』(共著: 1997.同友館)、『市場駆動型の戦略一価値創造のプロセス』(共訳: 1998.同友館)、『批判的マーケティング論』(単著: 2010.大東文化大学経営研究所)、『イノベーションと組織』(共訳: 2012.創成社)、『経営学検定試験公式テキスト6 マーケティング』(共著2006.中央経済社)、『スポーツ・マーケティングの基礎 第2版』(共訳: 2006.白桃書房)

高沢 修一 TAKASAWA Shuichi 博士(経営学) 教授

研究分野 税法、税務会計論

- 最終学歴: 大東文化大学大学院
●担当授業科目: 税法研究指導(前期・後期課程)、税法・税務会計論講義、税法・税務会計論研究
●研究テーマ: 東アジアのファミリービジネスと事業承継税制に関する研究
●主な著書・論文: 『韓国財閥のファミリービジネス』(2020.財経詳報社)、『近現代日本の税財政制度』(2019.財経詳報社)、『ファミリービジネスの承継と税務』(2016.森山書店)、『MBOにおける創業者取締役の責任と公正な取得価格の算定』(2015.会計)等

ダレン・マクドナルド Darren M. MCDONALD 修士(経営学) 教授

研究分野 人的資源管理、ダイバーシティ・マネジメント、質的研究方法論

- 最終学歴: 大東文化大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期課程)、人的資源管理論講義、人的資源管理論研究
●研究テーマ: 企業・組織におけるダイバーシティ・マネジメント、日本企業における人的資源管理、経営学における質的研究方法(グラウンデッド・セオリー論)
●主な著書・論文: "Understanding Diversity Management in Companies in Japan: Preliminary Approaches in Applying Grounded Theory" (単著: Research Papers No. E-46, Institute of Business Research, Daito Bunka University, March 2008)、『人的資源管理論』(執筆協力: 2001.白桃書房)

白井 康之 SHIRAI Yasuyuki 博士(工学) 専攻主任・教授

研究分野 人工知能、データマイニング

- 最終学歴: 東京工業大学大学院
●担当授業科目: 知識・情報マネジメント研究指導(前期・後期課程)、経営情報論講義、経営情報論研究、経営学研究の基本技法
●研究テーマ: 実データをを用いた効率的なデータ解析手法の研究
●主な著書・論文: 『ヒューマンサービスにおけるサービス提供者の異動影響分析』(『計測自動制御学会論文集』, 2019) 『Evaluation of Credibility for Reviewers and Review Scores Based on Link Analysis』(2nd Asia Conf. on Machine Learning and Computing, 2018) 他

五十嵐 正毅 IGARASHI Masaki 修士(商学) 教授

研究分野 広告論

- 最終学歴: 早稲田大学大学院
●担当授業科目: マーケティング研究指導(前期課程)、マーケティング講義、マーケティング研究
●研究テーマ: 広告の受容に関わる消費者心理
●主な著書・論文: 『広告リテラシー研究の今日的課題』(経営論集42-43号, 2022)、『消費者の広告への懐疑意識が広告の受容に与える影響』(日経広告研究所報300号, 2018)、『広告』という言葉から消費者が想起するもの』(日経広告研究所報283号, 2016)、『マーケティング・コミュニケーション』(共訳: 2018.白桃書房)

崔 冬梅 SAI Fuyume 博士(経営学) 教授

研究分野 経営システム科学

- 最終学歴: 大東文化大学大学院
●担当授業科目: 知識・情報マネジメント研究指導(前期・後期課程)、経営システム科学講義、経営システム科学研究
●研究テーマ: 経営システム科学の理論や手法及び情報技術との融合アプローチに関する研究
●主な著書・論文: 『経営システムの考え方』(共著) 『Cプログラミングによる経済・経営問題の解決法』(共著) 『A Hierarchical Framework for Assessing Corporate Sustainability Performance Using Hybrid Fuzzy Synthetic Method-DEMATEL』(共著, 2019) 『Exploring Learning Experience in A Total Enterprise Simulation Based on Means-end Theory』(単著, 2017) 『Green Strategies and Initiatives in the UK Transport Network and Logistics Industry』(共著, 2012)等

白坂 亨 SHIRASAKA Toru 博士(商学) 教授

研究分野 財務管理論、会計学

- 最終学歴: 明治大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、経営財務論講義、経営財務論研究
●研究テーマ: 明治期における会社財務関連制度の形成過程
●主な著書・論文: 『わが国会社財務制度の形成過程に関する研究』(単著: 2013.大東文化大学経営研究所)、『企業集団研究の方法』(共著: 1995.文眞堂)、『明治初期における適格者の会計』(『会計学会年報』第36号, 2018.日本会計史学会)

高田 茂臣 TAKADA Shigeomi 博士(経済学) 教授

研究分野 経営史、企業家論

- 最終学歴: 京都大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、経営史講義、経営史研究
●研究テーマ: 近代ハプスブルク帝国の産業発展と企業者活動
●主な著書・論文: 『19世紀ハンガリーの産業革命—ハンガリー資本主義像の再検討—』(2008.大東文化大学経営研究所)、『外国経営史の基礎知識』(共著: 2005.有斐閣)、『ハプスブルク史研究入門—歴史のラビリンスへの招待』(共著: 2013.昭和堂)、『経営史学の50年』(共著: 2015.日本経済評論社)

永田 清 NAGATA Kiyoshi 博士(工学) 教授

研究分野 情報セキュリティ

- 最終学歴: 中央大学大学院
●担当授業科目: 知識・情報マネジメント研究指導(前期・後期課程)、経営情報論講義、情報セキュリティ論研究
●研究テーマ: 誤り訂正符号、組織における情報セキュリティ評価システム、情報セキュリティを学ぶe-Learningシステム
●主な著書・論文: "Mass formula and construction of self-dual codes over $SZ_{[2^s]}$ "、"A Decision Making System for Cloud Computing Adoption Focused on Security Issues", "Multilingual E-Learning System for Information Security Education with Users' Consciousness"

経営学専攻 専任教員

長谷川 礼 HASEGAWA Rei 修士(経営学) 教授

研究分野 国際経営

- 最終学歴: 早稲田大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、国際経営論講義、国際経営論研究
●研究テーマ: 国際経営、多国籍企業論、在日外資系企業の経営
●主な著書・論文: "The Inferred Determinants of Employees' Turnover Intentions: A Comparison between Japanese and Foreign-owned Firms in Japan", International Journal of Business and Management Vol. 16, No. 8 (共著: 2021. Canadian Center of Science and Education)、『生活文化財産業—ユニリーバ、P&G、花王に見る欧米日企業のケース』吉原英樹、白木三秀、新宅純二郎、浅川和宏『ケースに学ぶ国際経営』(2013.有斐閣)

山崎 雅教 YAMAZAKI Masanori 修士(商学) 教授

研究分野 財務会計

- 最終学歴: 日本大学大学院
●担当授業科目: 会計学研究指導(前期・後期課程)、財務会計論講義、財務会計論研究
●研究テーマ: コーポレート・ガバナンスと会計情報の有用性の研究
●主な著書・論文: 『会計学 はじめの一步(第2版)』(共著: 2020.中央経済社)、『簿記 はじめの一步』(共著: 2013.中央経済社)、『日本版ESOPとコーポレート・ガバナンス』『Research Paper』No.J-57 (2011.3)、『集団投資スキームと日本版ESOP会計』『産業経営プロジェクト報告書』(2012.3)

榎屋 聡 MASUYA Satoshi 博士(工学) 准教授

研究分野 ゲーム理論、意思決定論

- 最終学歴: 大阪大学大学院
●担当授業科目: 知識・情報マネジメント研究指導(前期課程)、経営システム科学講義、経営システム科学研究
●研究テーマ: 不完備情報下における協力ゲームの基礎的考察
●主な著書・論文: 『マネジメント力の養成』、コーポレート・マネジメント研究会、財経詳報社, 2016 (共著)、『A fundamental study for partially defined cooperative games』, Fuzzy Optimization and Decision Making, vol.15, pp.281-306, 2016 (共著)、『A value based on marginal contributions for multi-alternative games with restricted coalitions』, Kybernetika, vol.46, pp.50-67, 2010 (共著)

渡邊 直人 WATANABE Naoto 修士(商学) 准教授

研究分野 管理会計、業績評価

- 最終学歴: 早稲田大学大学院
●担当授業科目: 会計学研究指導(前期)、管理会計論講義、管理会計論研究
●研究テーマ: バランス・スコアカード、目標達成
●主な著書・論文: 『BSC活用組織における多面的目標達成および内発的動機づけの関係』(経営論集 37)、『BSCの4つの視点に対する意識の変化と傾向』(大東文化大学紀要56)、『多面的目標達成に対する心理構造の特性: 福井県済生会病院の事例研究』(原価計算研究 37:2)

水谷 正大 MIZUTANI Masahiro 博士(理学) 教授

研究分野 数学、数理物理

- 最終学歴: 早稲田大学大学院
●担当授業科目: 経営情報論講義
●研究テーマ: 数理科学(力学系の理論、形式言語、統計力学)、数値計算
●主な著書・論文: "Random product of substitutions with the same incidence matrix", Theoretical Computer Science, Vol.543, pp.68-78(2014) 『プリンストン数学大全』(共訳: 2015.朝倉書店) 『入門 力学系』(共著: 2009.東京図書)、『LaTeX超入門』(単著: 2020.講談社)

山田 敏之 YAMADA Toshiyuki 博士(商学) 教授

研究分野 経営戦略論、経営組織論、イノベーション・マネジメント

- 最終学歴: 慶應義塾大学大学院
●担当授業科目: 経営学研究指導(前期・後期課程)、経営管理論講義、経営戦略論研究
●研究テーマ: 組織能力転換のマネジメント、戦略シフトと事業転換、双面的組織とイノベーション
●主な著書・論文: 『コア事業転換のマネジメント』(共著: 2011.同文館出版)、『IoTイノベーションの創造と個人レベルの両利き戦略』(2021.戦略研究28)、『個人レベルの双面的メカニズムとイノベーション創造: 組織文化、双面的リーダーシップ、内発的モチベーションの役割』(2022.経営論集42-43)

山口 貴史 YAMAGUCHI Takafumi 修士(経営学) 准教授

研究分野 財務会計、経営分析

- 最終学歴: 大阪大学大学院
●担当授業科目: 経営分析論講義
●研究テーマ: 財務会計に関する分析的会計研究
●主な著書・論文: 『マネジメント力の養成』(共著: 2016.財経詳報社)、『経営者の開示戦略が投資家の情報獲得行動および企業価値に与える影響』(単著: 2016.管理会計学 26 (1))、『資本市場における会計報告書の情報波及効果』(単著: 2011.大阪大学経済学 61 (1))

